

平成 30 年度

# 市政世論調査概要

第 7 2 集

和歌山市

## はじめに

今年是新天皇が即位され、平成から新たな時代への幕開けとなる年です。11月には「ねんりんピック紀の国わかやま2019」が開催され、これを契機に、高齢者の生きがいづくりや健康体操など、全員参加を目標とした健康長寿に取り組んでいきたいと考えています。

また、人口減少や経済の低成長時代に備えようということで、様々な法律ができ、和歌山市でも取組が本格的に動き出してきました。まちなか大学誘致の2校目となる和歌山信愛大学教育学部が開学し、南海和歌山市駅に新しい市民図書館がオープンします。肝心なのはそこで人が輝くことです。私は、市民一人ひとりが活躍し、輝くためには、世代間を超えて、様々な環境にある人々がつながり合える環境が重要だと考えています。今後、多様な主体がつながる場となるプラットフォームづくりを進めるとともに、様々な取組を持続可能なものとするため、人工知能やロボットなどの技術革新による新しい社会への対応の準備をしていきます。

そして、誰もが地域に誇りと愛着を持てるまちづくりを進め、活力と魅力あふれる都市「きらり輝く和歌山市」の実現に向けて前進して参ります。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的とした貴重な資料であります。

ここに、平成30年度市政世論調査概要（第72集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

和歌山市長 尾花正啓



### 和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

### 和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

# 目次

<b>I. 調査の概要</b> . . . . .	<b>5</b>
1. 調査の目的 . . . . .	5
2. 調査の内容 . . . . .	5
3. 調査の方法 . . . . .	5
4. 集計区分 . . . . .	6
5. 回答者の属性 . . . . .	7
6. 回答者の家族環境 . . . . .	11
<b>II. 調査の結果</b> . . . . .	<b>15</b>
1. あなたの身の回りの状況やお考えについて . . . . .	15
2. マイナンバーカードについて . . . . .	17
3. 犯罪被害者等について . . . . .	22
4. 在宅医療について . . . . .	24
5. 自殺対策について . . . . .	33
6. 消防団について . . . . .	38
7. 災害対策について . . . . .	49
8. 防犯対策について . . . . .	86
9. 健康について . . . . .	91
10. スポーツについて . . . . .	111
11. スポーツ施設について . . . . .	115
12. 市報わかやまについて . . . . .	117
13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について . . . . .	124
14. 和歌山市の市政について（自由意見） . . . . .	149
<b>III. 調査票</b> . . . . .	<b>153</b>

## ※報告書利用にあたって

○図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

○複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。

○図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「944」となっています。

○年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。